



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー化研  
コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤岡 宣隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 芝 彦尚

TEL 03-3241-5701

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,552	△6.1	279	23.3	339	23.7	227	21.2
27年3月期第1四半期	8,040	△3.6	226	△37.5	274	△40.1	187	△35.6

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 454百万円 (85.8%) 27年3月期第1四半期 244百万円 (△21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	20.71	—
27年3月期第1四半期	17.08	17.07

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年3月期第1四半期	30,938		16,868		54.1		1,525.25	
27年3月期	30,008		16,491		54.5		1,491.00	

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 16,739百万円 27年3月期 16,363百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,300	△0.8	450	143.0	500	100.3	335	84.9	30.52
通期	31,300	4.7	650	360.7	700	720.6	465	800.8	42.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	11,320,000 株	27年3月期	11,320,000 株
28年3月期1Q	345,203 株	27年3月期	345,203 株
28年3月期1Q	10,974,797 株	27年3月期1Q	10,973,297 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国が雇用環境の改善と個人消費の持ち直しによって顕著な景気回復の傾向が認められます。欧州においても、景気が緩やかな回復基調にある一方で、不安定なギリシャ情勢により再悪化の懸念もくすぶり続けております。また、中国においては、相対的に高成長を維持しているものの、経済の減速が進行中であり、不安定な状況が続いております。

一方、わが国経済は、円安と原油安を背景に企業収益が改善し、それに伴う設備投資の伸びや個人消費の拡大によって、景気は着実に回復傾向を示しつつあります。

そのような状況下、当社グループにおいては、機能性材料における前期からの販売不振の影響が尾を引いており、他のセグメントにおいても増収に転じることができなかつたため、グループ全体では減収となりましたが、合理化による製造コストの低減や原材料費の削減により、増益を果たすことができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高75億52百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益2億79百万円（前年同期比23.3%増）、経常利益3億39百万円（前年同期比23.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億27百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

## 軽包装材料

当セグメントにつきましては、電子レンジ対応食品包材「レンジD o!」の売上が前年同期並みでありましたが、清涼飲料用パウチの立ち上がり時期のずれ込み等によって、食品用包材としては僅かに減収となりました。また、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」は、採用数の増加により増収となりましたが、医薬・医療用包材としては僅かに減収となりました。

一方、エア緩衝材「エアロテクト」は、ユーザーの在庫調整が一巡し、受注が回復したほか、個人消費の伸びに伴う一般包材の受注増もあり、工業用その他の分野では増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37億36百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

## 産業資材

当セグメントにつきましては、景気回復により僅かに物流の持ち直しが見られる反面、住宅建設はやや低調であったことから、テープ基材関連の受注状況はほぼ前年同期並みとなりました。剥離紙については、自動車関連部材用は比較的好調でありましたが、国内の電子部品固定用はやや低調でありました。また、フレキシブルプリント基板用の電材用工程紙については、前期より続いている海外ユーザーからの受注減少の影響が大きく、剥離紙全体としては減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19億8百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

## 機能性材料

当セグメントにつきましては、前年下期以降、販売不振の影響が続いておりますが、「サニテクト」は、NSタイプをはじめ光学用途で受注が回復し、前年同期比で増収となりました。

「PAC」については、偏光板用の受注回復と新規案件の取り込み等によって、僅かに増収となりました。

「SAT」については、低調な販売状況から底入れしつつあるものの、前期の販売不振の主な要因であったタッチパネル関連部材の仕様変更による影響が今なお解消されず、新規開発案件についても目立った進展が得られなかったことから、大幅な減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億93百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	3,736百万円	49.5%	0.5%減
産業資材	1,908百万円	25.3%	1.3%減
機能性材料	1,793百万円	23.7%	20.3%減
その他	114百万円	1.5%	11.7%増
合計	7,552百万円	100.0%	6.1%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて9億29百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億1百万円増加したことや、電子記録債権が2億17百万円増加したこと、投資有価証券が3億29百万円増加したことに加えて、掛川工場WESTの建設に係る建設仮勘定の増加を主として有形固定資産（その他）が4億94百万円増加したためであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて5億52百万円増加いたしました。これは主に、掛川工場WESTの建設に係る設備関係支払手形の増加を主として流動負債（その他）が5億60百万円増加したためであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて3億77百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1億50百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が2億20百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向を勘案し、平成27年5月15日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成27年8月11日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,440,353	5,374,183
受取手形及び売掛金	9,421,279	9,622,941
電子記録債権	934,503	1,152,111
商品及び製品	1,308,530	1,312,234
仕掛品	1,215,824	1,088,278
原材料及び貯蔵品	609,175	667,624
その他	426,078	335,467
貸倒引当金	△40,416	△42,126
流動資産合計	19,315,329	19,510,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,330,248	2,285,171
機械装置及び運搬具(純額)	925,776	877,481
土地	1,916,530	1,930,566
その他(純額)	203,751	698,368
有形固定資産合計	5,376,307	5,791,587
無形固定資産		
	17,628	16,644
投資その他の資産		
投資有価証券	3,664,917	3,994,073
関係会社出資金	692,778	686,223
退職給付に係る資産	851,655	849,689
その他	90,476	89,804
貸倒引当金	△730	△730
投資その他の資産合計	5,299,098	5,619,061
固定資産合計	10,693,034	11,427,293
資産合計	30,008,364	30,938,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,208,089	6,352,724
短期借入金	3,250,000	3,280,000
未払法人税等	—	14,732
賞与引当金	430,482	229,833
その他	1,587,026	2,147,474
流動負債合計	11,475,598	12,024,764
固定負債		
長期借入金	450,000	380,000
役員退職慰労引当金	125,344	116,197
環境対策引当金	230,623	228,505
退職給付に係る負債	474,953	453,103
資産除去債務	100,548	100,750
その他	660,175	766,287
固定負債合計	2,041,645	2,044,843
負債合計	13,517,244	14,069,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	11,061,237	11,211,774
自己株式	△115,955	△115,955
株主資本合計	15,258,038	15,408,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,015,411	1,236,149
為替換算調整勘定	93,406	93,664
退職給付に係る調整累計額	△3,349	1,010
その他の包括利益累計額合計	1,105,467	1,330,824
非支配株主持分	127,613	128,999
純資産合計	16,491,119	16,868,399
負債純資産合計	30,008,364	30,938,007

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	8,040,166	7,552,418
売上原価	7,071,324	6,542,301
売上総利益	968,842	1,010,116
販売費及び一般管理費	742,377	730,972
営業利益	226,465	279,144
営業外収益		
受取利息	70	202
受取配当金	36,944	39,495
作業くず売却益	15,983	14,605
クレーム収入	4,705	18,310
その他	5,456	4,922
営業外収益合計	63,160	77,536
営業外費用		
支払利息	9,530	7,767
持分法による投資損失	304	6,813
為替差損	4,672	—
その他	707	2,676
営業外費用合計	15,214	17,257
経常利益	274,411	339,423
税金等調整前四半期純利益	274,411	339,423
法人税、住民税及び事業税	16,262	12,081
法人税等調整額	69,253	98,144
法人税等合計	85,516	110,225
四半期純利益	188,894	229,197
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,374	1,836
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,519	227,360



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	188,894	229,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,491	220,987
退職給付に係る調整額	4,659	4,360
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,200	258
その他の包括利益合計	55,950	225,605
四半期包括利益	244,844	454,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,455	452,717
非支配株主に係る四半期包括利益	1,389	2,086

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	3,755,319	1,933,232	2,249,325	7,937,878	102,288	8,040,166
セグメント利益又は損失 (△)	154,917	2,758	62,911	220,586	5,879	226,465

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	3,736,596	1,908,025	1,793,566	7,438,187	114,231	7,552,418
セグメント利益又は損失 (△)	252,281	55,849	△43,300	264,830	14,314	279,144

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。